

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

次世代につなぐ三河の家

グループの名称

三河地域住宅工房ネットワーク

直近採択グループ番号

04-0502-0466

(グループ代表者)

代表者名

市川 守彦

代表者印

代表者所属先

株式会社カーザミカワ

代表者所在地

愛知県岡崎市吹矢町88番地

代表者電話番号

0564-24-2511

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社中野屋銘木店

事務局担当者名

中山 成幸

印

事務局郵便番号

440-0874

事務局所在地

愛知県豊橋市東松山町65番地

事務局電話番号

0532-54-5535

事務局FAX

0532-54-5539

事務局担当者E-mail

kondou-takanori@nakanoya-m.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		9	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		22	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	22	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		13	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	13	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		13	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	13	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択後、地位型住宅の施工が確実な中小工務店を募り、最低限1戸を割り当てる。 各建設会社の今年度申請予定数を考慮し、その中で長期優良住宅に取り組んだ事のない業者を優先。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	8	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸
	補正予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	















県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成28年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用 実績		被災地 に該当	ZEHビ ルター に該当	BELS工 務店に 該当		
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち木造認定低炭素住宅 の実績		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	ゼロエ ネ住宅					
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均							
23	VI - 1	45926	株式会社 カーザミカワ	5 戸	5 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
23	VI - 31	46302	有限会社 森森建設	10 戸	10 戸	3 戸	4 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
23	VI - 32	46343	芳賀建工	2 戸	2 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 33	46429	鈴木建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 34	45907	株式会社建築工房きらく	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					○
23	VI - 35	46018	有限会社新建築設計事務所	6 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 36	46365	木村建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 38	46270	株式会社筒井工務店	7 戸	5 戸	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 39	46401	有限会社鈴幸建設	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 40	45830	株式会社ライフ建設	5 戸	6 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			○ ○
23	VI - 41		数寄屋建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 42	46370	株式会社野川建設	3 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 43	45849	高井建設株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 44	45736	丸河工務店株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 45	45634	有限会社安食建設	9 戸	8 戸	9 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				○
23	VI - 46	45800	アーキテックス株式会社	20 戸	15 戸	20 戸	15 戸	0 戸	0 戸	3 戸	3 戸	3 戸	3 戸	㎡	㎡	○	○			○ ○
23	VI - 47	45719	株式会社宝建	40 戸	35 戸	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 51	45637	株式会社安藤建築	9 戸	8 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				○
23	VI - 52	46031	株式会社 神谷総合建設	39 戸	37 戸	27 戸	15 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	○	○			○
23	VI - 53	46141	綺の家建築株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 54	45848	香ノ木住建	3 戸	4 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				○
23	VI - 55	46411	鈴和建築株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 56		総合建築モリキタ	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 57	46426	大黒屋建設株式会社	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 61	46424	有限会社鈴茂建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 62	45727	株式会社河井工務店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					○
23	VI - 64	45643	都築建設工業株式会社	6 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 ㎡	0 ㎡	○	○			○
23	VI - 65		有限会社リッキーカーペンターズ	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 66	46263	ソーラーホーム株式会社	5 戸	5 戸	3 戸	2 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○			
23	VI - 67	45795	株式会社太平洋設計事務所	2 戸	2 戸	1 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
22	VI - 68	45101	佐原建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				○
23	VI - 69	46206	中根技建株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 70	45916	ヤマモトスペースデザイン	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 71	45899	ユートピア建設株式会社	28 戸	30 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡		○			○ ○
23	VI - 72	46300	株式会社萩原工務店	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
23	VI - 73		株式会社阿部住宅	5 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					○
23	VI - 74	46406	株式会社鈴真工務店	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 78	45972	小林建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 79		有限会社マルヨ伊藤建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 80		株式会社タカオカ・エンジニアリング	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 81	45797	株式会社ニッポー	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 82	46419	大友建築	3 戸	8 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 83		株式会社高槻工務店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 84		有限会社鈴安工務店	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 85	45755	株式会社丸山建設	11 戸	11 戸	1 戸	3 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○			
23	VI - 86	46377	野本建築	6 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	2 戸	3 戸	3 戸	3 戸	㎡	㎡	○	○			○ ○
23	VI - 87		朝倉建築有限公司	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
22	VI - 88	45502	尾藤建築	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 89	46288	内田建設株式会社	8 戸	10 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○			○
23	VI - 90	45845	株式会社荒川工務店	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
23	VI - 92	45661	有限会社伊奈建築	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 93	46408	有限会社丸鈴	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	VI - 94	45993	株式会社友紀建築工房	17 戸	17 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					



県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ.Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代につながる三河の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県三河地区(一部隣接地域を含む【愛知県、岐阜県、長野県、静岡県】)
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 三河地域住宅工房ネットワーク	(結成年) 2013 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0502-0466	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・東海地震等の大型地震が発生した場合に備え、耐震性能を重視した住宅とする。 ・長寿命型の住宅に関しては、耐震等級2を必須とし、高度省エネ型に関しては、耐震等級2相当を推奨する。 ・安全に長く住んでもらう事を前提に計画された、メンテナンス性の高さ及び耐久性を重視した住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・日照条件が良い地域のため、庇等による日差しの調整や、通風などを考慮した間取りを取り入れ、南側の軒を600mm以上出すなどのパンプハウスの手法を利用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・旧東海道の宿場町の名残を多く残す建物が存在する地域であることから、そのデザイン特徴を取り入れた、環境に適したデザインを採用する。 ・地元で生産された三州瓦を利用する。 ・東海道の宿場町をイメージした国産木材を利用した格子をデザインモチーフとして組込む。 ・外壁・腰壁・軒天・天井等一部で、木材を利用し自然塗料もしくは無塗装の仕上げとする。 ・柱や梁を一部表しとし、自然塗料もしくは無塗装の仕上げとする。	○
④①～③の背景	・今後東海地震等の大型地震の発生が懸念される。 ・全国的にみて比較的時間が長い。 ・旧東海道の沿線にあることから多くの宿場町があり、その名残がある街並みが多くある事があげられる。 ・適切なメンテナンス、維持管理を行えば、住宅の資産価値の減少を抑える事ができ中古住宅の流通活性化に繋がる。 ・上記を鑑みて、地震に対して強固な住宅を、地域の特徴を活かした環境に考慮したパンプハウスを目指していく。 そして、伝統的な住宅の様式等を次の世代につないでいくような住宅をグループ全体で、地域に提供していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・木材の経年変化を楽しめるような住宅とする。 ・次世代の家づくりの担い手である学生との交流を図り、産学連携を積極的に行っていく、その成果を次の世代の住宅に反映させていく。 ・地域材を利用し、地域の木材産業の発展や各木材の産出地の持続的な発展に寄与するような住宅づくりに積極的に関わる。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・土台は3.5寸以上の材料を使う事とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・床断熱の場合には廃材を再生利用した断熱材を使用する事とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・土台はヒノキ(あいち認証材)を使用する。 ・柱はヒノキ・スギ(合法木材証明制度(国内))を使用する。 ・その他の主要構造部材も樹種を限定して統一し、木材の標準仕様書を作成する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・木材や断熱材等のグループにて指定材料としたものは、製造メーカーの協力を得て仕入価格を抑えることにより、利益を住宅の発注者へ還元する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局専用発注シートを作成し、合理化をはかる。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・施工業者と木材流通事業者の有志をメンバーとして検討委員会を設置する。 ・委員会と事務局で合理化に関わる新工法や新商品が発売された際には、情報を収集し発信する。 ・使用状況については、事務局が設計図書で確認を行うと共に、所属する流通業者が出荷時にも確認を行いグループ全体に周知する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・交付申請時に事務局が設計図書にて採用状況の確認を行う。 ・事務局が集計を行い、検討委員会を通じてグループ全体に発信及び新規情報の収集を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・省エネ法の平成25年度基準とフラット35を施工基準とする、施工基準を規格化するためにパッケージプランを事務局が中心となって作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が検査用チェックリストを作成し、それに基づき検査を行い、検査用チェックリストと共に設計図書及び完成写真にて事務局が確認を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・納まり図において標準仕様書と単価表を作成し、品質の確保と共に価格の明確化を行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・フリーペーパー・Facebook等のSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)メディアを利用したブランド化住宅の普及	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・産学連携について4年程度の長期的な取組みを行い、最終的に地域型住宅のプラン案を策定し、そのプランを新たに地域型住宅の内容に盛り込み実施する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代につながる三河の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県三河地区(一部隣接地域を含む【愛知県、岐阜県、長野県、静岡県】)
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 三河地域住宅工房ネットワーク	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0502-0466	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インターネット上のオンラインストレージサービスを利用し、施主・施工業者・設計者・グループが住宅工事履歴を管理する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に『あんしんパック』への加入を推奨する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インターネットのオンラインサービスで確認する。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム時期の推奨の目安のガイドラインを策定する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でメンテナンスの整備基準の作成。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにて点検実施報告書を作成。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回、維持管理セミナーを実施する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 三河地区を中心に廃材等を利用したDIYなどの興味を示して頂ける様な、木工教室等を実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年6月に展示会を実施し、その中で管理相談会の実施	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検討委員会内にあるインスペクション有資格者が中心となって、住宅の現況の把握将来的なリフォームによる住宅の性能アップを検討する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、建築済図面の管理等を行う。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成保証制度を推奨していくと共に、グループ内で共通する協力業者を有する工務店を斡旋していく事で、下請け工事のやり直しといった工程のロスをなくし、速やかに住宅工事にかかれる様にする。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一瑕疵が発生した場合、その内容を事務局より構成員へ通達する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・中古住宅の長期優良化リフォームおよび中古住宅のリフォームを含めたリフォーム一体型フラット35を利用するなどをして、中古住宅市場の活性化を図れるようなシステムを常に促進していく。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ主催の勉強会や講習会を開催する。 ・未経験工務店が他工務店の施工している物件の見学が出来る現場見学会を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局でチェックシートを作成し、活用する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専用チェックシートの提出を促す。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の昨年度の住宅着工実績420戸(内、長期優良住宅は、46戸) ・昨年度の実績の10%アップを目標とする。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回住宅資材メーカーに協力をしてもらい研修を行って施工技術を高める。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が把握している情報を各業種に早期発信をしていく。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の開催日を未講習者に案内を行い、参加を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 産学連携を行い構成員に新技術を紹介していく。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・省エネに関する計算方法について、グループで講習会を行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代につながる三河の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県三河地区(一部隣接地域を含む【愛知県、岐阜県、長野県、静岡県】)
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 三河地域住宅工房ネットワーク	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0502-0466	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・土台は、ヒノキ(あいち認証材)を使用。 ・柱はヒノキ・スギ(合法木材(国内))を使用。 ・梁・桁材はスギ(合法木材(国内))、ベイマツ・オーシウアカマツ・ホワイトウッド(合法木材(国外))を使用する。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>□ 50%未満 □ 50%以上 ■ 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>【地域材流通のフロー図】</p> <p>※この地域材のフロー図によらない場合がある。</p> <p>グループ全体のレベルアップを図るための取組&amp;役割</p> <p>グループ全体のレベルアップを図る勉強会は、上記の様なサイクルで実施します。 ① グループ参加メンバー及び関連業界から施行方法・最近のトレンドや法令に関する情報を事務局が収集する。 ② 事務局が勉強会を開催。参加メンバーはアンケートに回答。 ③ アンケート結果を事務局が取りまとめ、協議会全体にフィードバックし、次回の勉強会の内容に反映すると同時に、講師として情報を提供してくれた、メンバー及び業界にもフィードバックをおこないます。</p>	◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>□ ない ■ ある → 内容: 事務局が定期的に構成員(原木供給・製材・集成材・合板・流通業者)に在庫量の情報を収集・把握を行い、グループ全体に発信する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>□ ない ■ ある → 内容: 事務局が定期的に構成員(原木供給・製材・集成材・合板・流通業者)に価格の情報を収集・把握を行い、グループ全体に発信する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が施工業者の着工予定を把握し、地域材の需要予測を行う。</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 近年、畳離れが進む傾向にあるため、日本古来の伝統様式でもある畳を使用するスペースを設けることを推奨する。</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地元で生産された三州瓦を推奨する。瓦の廃材を再利用した、砂利敷き利用する。</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 従来の使用方法だけではなく、学生とともにデザイン・使い方を考える。</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 日射遮蔽効果があるとみなし、カーテン等と同じようにあるため、洋室でも使用できるようなデザインをグループで提案していく。</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 石工の地域として有名な地域なので、御影石を使用する。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 御影石をデザインアクセントとして利用する。</p>	○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 東海道の宿場町をイメージした国産木材を利用した格子をデザインモチーフとして取り込む。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 積極的に次世代の家づくりの担い手である学生との交流をはかり、産学連携を行い、地域型住宅を発信していく</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 旧東海道の宿場町の名残を残す建物が多く存在する地域なので、その特徴を取り入れた環境に優しいデザインである事。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 襖などに見られるような、柔らかな間仕切りを設けることで、空間の繋がりが長期に使用目的を変化させながら利用できるような住宅とする。</p>	○
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>・外壁・腰板・軒天・天井等で木材の利用を推奨する。 ・一室以上は、柱や梁を表とし、自然塗料もしくは無塗装の仕上げとすることを推奨する。</p>	○

カ. その他		◎、○ 記入欄
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	・被災地域で生産されている製品を積極的に使用することを推奨していく。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・被災地域で生産されている製品を積極的に使用することを推奨していく。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 次世代につながる三河の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県三河地区(一部隣接地域を含む【愛知県、岐阜県、長野県、静岡県】)
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 三河地域住宅工房ネットワーク	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0502-0466	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【グループが取組む木造住宅の特徴】

【高度省エネ型の特徴】

・ゼロ・エネルギー住宅

外皮平均熱貫流率 UA値を5, 6地域を0.58以下とする。  
ランクアップ外皮平均熱貫流率の基準値は UA値 5地域0.40以下、6地域を0.50以下とする。  
エネルギー削減率(全体R) 100%以上、太陽光を除くエネルギー削減率(Ro)25%以上とする。

・認定低炭素住宅

所管行政庁による認定低炭素建築物の認定を受ける事とすること。

※認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅共、グループで定めた仕様と準ずる物とする。

【優良建築物型について】

・優良建築物型については、前述までの記載とは別とし以下の①～⑤の様と別途定める。

- ① 1)から3)のいずれかの認定または評価等を受けたものとする。
  - 1) 都市の低炭素化の促進に関する法律(平成24年9月5日法律第84号)に基づき、所管行政庁による認定
  - 2) 評価機関による建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) の評価
  - 3) 認証機関等「の第三者による建築環境総合性能評価システム (CASBEE) の認証  
建築物の環境効率 (BEEランク) 1.0 (B+)以上
- ② 供給対象地域は全国とする。
- ③ 土台と柱は国産合法木材のヒノキを使用する。また、主要構造部材の内、過半を合法木材(国内・国外)を利用する。
- ④ 間柱と腰壁の一部は国産のスギを使用する。
- ⑤ 柱と梁の一部は表しとする。